

社会資本整備審議会道路分科会 平成27年度第3回中国地方小委員会
《議事要旨・議事録》

1. 日 時

平成 27 年 9 月 15 日 (火) 10:00～12:00

2. 場 所

広島合同庁舎4号館

3. 出席者

＜委員＞

◎ ^{ふじわら}藤原 ^{あきまさ}章正 広島大学大学院 国際協力研究科 教授

^{うちやま}内山 ^{せいいち}誠一 中国経済連合会 専務理事

^{ふくだ}福田 ^{きょうこ}京子 地域づくりネットワーク 代表

^{やまだ}山田 ^{ともこ}知子 比治山大学 現代文化学部
マスコミュニケーション学科 教授

※敬称略 ◎は委員長

4. 議 題

(1) 計画段階評価について

山陰道:大井～萩(第1回)

5. 結論

山陰道「大井～萩間」の計画段階評価の手続き及び意見聴取することを了承する。

また、今回の山陰道:大井～萩間と山陰道:木与付近を含め、2区間を一緒に意見聴取するとの提案について了承する。

地域住民や道路利用者だけでなく、将来道路を利用する方の意見も聴取できるように、広範囲に意見を可能な限り聴取する工夫を求める。

意見聴取の説明資料に地域の特色である観光の状況等を記載し意見聴取すること。

住民意見については、高齢者、若者、女性などバランスの取れた意見聴取となるように可能な限り工夫を求める。

6. 委員からの主な意見

- ・地域特有の課題に対して優先すべき政策目標として、観光や地域の特産である農水産物など、本来地域が持っているポテンシャルを活かすための道路整備について、10年～20年後を見据えた検討を行うべき。
 - ・また、災害時の代替性を重視したネットワーク機能についても優先すべき政策目標と思われる。
 - ・加えて、現在利用されている地域の方にとっての安全・安心を確保する機能など必要。
- ・観光や物流といった広域ネットワークの視点では、地域住民や現在の利用者だけではなく、将来的に利用したいと思っている人からも、可能な限り広範囲に意見聴取する必要あり。
- ・繋がって初めて発現する便益も多いため、新規事業採択時の評価では、広域ネットワークが整備されたときの費用対効果を分析するなど、評価手法を検討すべき。
- ・地域住民の意見聴取では、観光に関する意見が出にくいと考えられ、観光客など幅広くヒアリングを行うべき。
- ・また、意見聴取の説明資料に道路の課題だけでなく、増加傾向である観光需要の状況など客観的な事実も記載してはどうか。
- ・地域住民への意見聴取については、可能な限りバランスの取れた意見聴取となるように高齢者、若者、女性などの声も届くようにしてもらいたい。
- ・現道には歩道が無いなど危険な状況が確認でき、観光や物流だけでなく、生活道路として日常使われる道路としても課題があると思われる。
 - ・救急搬送についても、時間短縮や搬送時の負担軽減に配慮した計画が重要。

以上